

TruPhase の活用(1)
—音源の位相確認(1)—

1. はじめに

TruPhase の位相反転機能を利用して音源の位相確認を行っていきます。

2. TruPhase の位相反転機能による音源の位相確認計画

TruPhase の導入以降、各種条件における音質の確認を行い、[TruPhase の導入シリーズ](#)で報告してきました。一方、音源の位相については、Brooklyn DAC+の位相反転機能を利用して各種音源について位相確認を行い、[音源の位相チェック実験シリーズ](#)で報告してきました。

今回、バランス入力のある、しなの音蔵 300B シングルアンプの修理が終わったことから、Brooklyn DAC+から TruPhase へのバランス入力と TruPhase から 300B シングルアンプへのバランス出力における音源の位相確認を行うこととしました。

そのため手始めとして、下記経路による CD 音源の位相確認から着手します。

CD ドライブ→fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC+→TruPhase
→300B シングルアンプ

Brooklyn DAC+以降の経路や VRA-7 などの使用状況は、[ヴォリュームアキュライザーの活用\(20\)](#)の場合と同様です。

試聴した CD 音源は、[音源の位相チェック実験\(32\)](#)で使用したバッハの宗教曲の作品で下記のとおりです。

ARCHIV POCA-2009/10

J.S.Bach ミサ曲口短調 結果：逆相
カール・リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団

DENON COCQ-84904-6

J.S.Bach マタイ受難曲 結果：逆相
ルードルフ・マウエスベルガー指揮ライプチヒゲヴァントハウス管弦楽団

MOTTETO STEREO CD-50291

J.S.Bach Neuyahr Bis Passion 結果：正相
Jean-claude Zehnder(Or.)
Egon Shuwarb 指揮 Klosterchor Wettingen

harmonia mundi HMM 902368 結果：正相

J.S.Bach Dialogkantaten BWV32 BWV 49 BWV 57
ベルリン古楽アカデミー

3. TruPhase の位相反転機能による音源の位相確認結果

上記 CD について、Brooklyn DAC+での位相反転と TruPhase での位相反転の結果が同じになるかどうかは焦点です。

最初に、Brooklyn DAC+で位相反転させ、TruPhase で位相反転させないで聴き、ついで Brooklyn DAC+では位相反転させないで、TruPhase で位相反転させて聴いてみます。

まず、最初はミサ曲口短調ですが、TruPhase で位相反転させないで Brooklyn DAC+で位相反転させた方が、定位がよくなり、声や音の焦点があってきます。これは、音源の位相チェック実験(32)の結果と同様です。

次に Brooklyn DAC+では位相反転させないで、TruPhase で位相反転させますと音量がぐんと上がりますので、TruPhase と Brooklyn DAC+のヴォリュームで調整することが必要です。この場合も TruPhase で位相反転させますと、定位がよくなり、声や音の焦点があってきて、Brooklyn DAC+での位相反転と同様の結果になりました。

音量調整を容易にするため、Brooklyn DAC+では位相反転させず、TruPhase で位相反転させた状態で TruPhase のヴォリュームを固定し、TruPhase での位相反転では、Brooklyn DAC+でのヴォリュームでの調整だけにしました。

そして、Brooklyn DAC+では位相反転させないで、TruPhase での位相反転有り無しで、次のマタイ受難曲を聴いてみますと、TruPhase で位相反転させた方が、定位がよくなり、声や音の焦点があってきます。

Neuyahr Bis Passion では、TruPhase で位相反転させると、オルガンや合唱の定位がぼやけます。

Dialogkantaten では、TruPhase で位相反転させると、ソリストや伴奏の定位がぼやけます。

なお、音質的には、VRA-7 や USB ダンパー、バランスアナログアキュライザーなどの効果が相まって以前とは比べものにならないくらいクオリティが上がっています。特に、口短調ミサ曲やマタイ受難曲のような古い録音も位相を合わせると、新鮮に聴こえます。

Neuyahr Bis Passion(1992 年)と Dialogkantaten(2008 年)は比較的新しい録音であり、正相という結果になりました。

4. まとめ

TruPhase での位相反転と位相チェック実験(32)における Brooklyn DAC+での位相反転の結果は、同様の傾向になることが分かりました。TruPhase での位相反転では音量が変わりますが、その理由は分かりません。

以上